



TITLE:

目次 (泌尿器科紀要 第33巻第12号)

AUTHOR(S):

CITATION:

目次 (泌尿器科紀要 第33巻第12号). 泌尿器科紀要 1987, 33(12)

ISSUE DATE:

1987-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/119368>

RIGHT:

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 33, No. 12 ACTA UROLOGICA JAPONICA December 1987

泌尿器科紀要

第33巻 第12号 1987年12月

ヒト尿路性器悪性腫瘍のヌードマウスへの異種移植の研究	
—ヒト原発性尿管腫瘍株の樹立とその性状—	深津 英捷・ほか…1943
尿酸酸化酵素を用いた尿中尿酸測定法の検討	小川 由英・ほか…1951
慢性透析患者の皮膚掻痒症に対する硫酸亜鉛の止痒効果	
—特に血清ヒスタミン濃度の変動からみて—	眞田 俊吾・ほか…1955
閉塞性腎疾患に対する ^{99m}Tc -DTPA 利尿レノグラム,	
^{99m}Tc -DMSA レノシンチによる評価	岡村 菊夫・ほか…1961
Ciclosporin の腎毒性に関する研究	
第1報: Ciclosporin 投与ラットにおける腎毒性について	朴 勺・ほか…1966
80歳以上の入院患者に対する臨床的検討	桐山 功・ほか…1975
外来尿路感染症患者における尿路分離菌および	
薬剤感受性の年次推移について	土井 達朗・ほか…1979
Candida 尿路感染症の治療: 血清中抗体価および	
血清中 D-arabinitol 値の推移からみた検討	徳永 周二・ほか…1988
上部尿路に原発したと考えられる尿路上皮癌34例の経験	客野 宮治・ほか…1995
最近10年間の上部尿路悪性腫瘍の臨床的検討	大枝 忠史・ほか…2001
新しく開発された超音波碎石装置の使用経験	秋鹿 唯男・ほか…2010
経皮的尿管切石術に対する等比重 Bupivacaine による腰椎麻酔	寺地 敏郎・ほか…2016
内視鏡的尿管結石手術における尿管損傷	寺地 敏郎・ほか…2020
硬性尿管鏡による経尿道的尿管結石摘出術の検討	竹内 秀雄・ほか…2027
改良型電気水圧碎石器の使用経験	間宮 良美・ほか…2032
尿管 S 状腸吻合術: 18症例の臨床的検討	井田 時雄・川上 寧…2038
前立腺癌における各腫瘍マーカーの臨床的意義 —前立腺酸性フォス	
ファターゼ (PAP), 前立腺特異抗原 (PA), γ -セミノプロテイン	
(γ -Sm) の比較検討	吉貴 達寛・ほか…2044
前立腺癌の臨床的検討	山本 明・ほか…2050
前立腺疾患における γ -Seminoprotein の臨床的研究	
第1報: 血清中 γ -Seminoprotein 値の検討	長谷川親太郎・ほか…2055
前立腺疾患における γ -Seminoprotein の臨床的研究	
第2報: γ -Seminoprotein の免疫組織化学的検討	中島 淳・ほか…2059
済生会下関病院における開設以来の尿路悪性腫瘍の臨床統計	実藤 健・ほか…2064
北野病院泌尿器科における臨床統計 (1968年1月~1986年12月)	谷口 隆信・ほか…2068
原発性副甲状腺機能亢進症の1例	
—経口 Ca 負荷試験による高 Ca 尿症の評価—	坂本 亘・ほか…2084
男性化副腎皮質癌の1例 (英文)	滝内 秀和・ほか…2090
副腎性器症候群における外性器形成術の1例	坂本 亘・ほか…2095
腎盂扁平上皮癌の1例と本邦症例の検討	山口 聡・ほか…2103
移植腎摘除術に際し偶然にみられた左下大静脈の1例	小西 平・ほか…2111
小児尿管ポリープの1例	小出 卓也・ほか…2115
動注療法により腹腔内穿孔をきたした膀胱扁平上皮癌の1例	滝内 秀和・ほか…2118
四重複癌の1例 (胃癌, 膀胱移行上皮癌, 多発性骨髄腫,	
膀胱平滑筋肉腫)	橋本 京子・ほか…2122
Crohn 病に起因した膀胱後部膿瘍の1例	田仲 紀明・ほか…2127
亜急性小脳変性症を伴った HCG- β 陽性セミノーマの1例	小川 修・ほか…2134
膀胱炎患者に対する Enoxacin と Norfloxacin の	
効果に関する比較検討 (英文)	山本 雅憲・ほか…2141
泌尿器科紀要第33巻 総目次・物件索引・人名索引	i ~ xxxxxxxxxi

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します

投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿: 連名者を含めて会員(年間購読者)に限る。
2. 原稿: 泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す
例: 山田・ほか: 前立腺がん・PSAP
 - (4) 英文抄録: 和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリ
3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷: 実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

ミシングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。

(6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。

(例: 山田^{1,3,7}, 田中^{1,3-10}) によると)

雑誌の場合—著者名(全員): 題名、雑誌名
巻: 最初頁~最終頁, 発行年
単行本の場合—著者名(全員): 題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

(7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

(8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

(9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修(主 幹)